

福岡市ラグビーフットボール協会

【設立年月日】

1962（昭37）年

【加盟年月日】

1962（昭37）年

【歴代会長】

2007（平19）年 魚住 俊治

【歴代理事長】

2010（平22）年 大町 博憲

2012（平24）年 天野 圭一郎

2016（平28）年 柳川 亘

【沿革】

本協会は1962（昭37）年に競技の普及と振興を図るために創設されました。設立当初から大会運営を主として子どもから成人まで老若男女問わず競技者のサポートに取り組んでいます。近年、2019（令元）年に行われたラグビーワールドカップ2019福岡大会の支援活動に参加いたしました。

【現在の活動】

1 市民総合スポーツ大会

(1) 7人制ラグビー大会（2月）

オリンピック種目にもなっている7人制ラグビー大会です。体力はもちろん、高いフィットネスが求められます。

(2) クラブ社会人ラグビー大会（5月）

クラブチーム・社会人チームが参加し、トーナメント方式で開催しています。今年で56回目を迎えた大会です。

(3) 小学生ちびっこラグビー大会（6月）

幼稚園から小学4年生までの子どもたちが一同に集い、交流試合を開催しています。今年で26回目を迎え、日頃の練習の成果を発揮しています。

(4) 中学生タグラグビー大会（10月）

タックルの代わりに身体に装着したタグ（帯状のヒモ）を複数回取ることで、攻守が変わるスピーディーな競技です。スクラムも選手同士の接触も無いパスゲームです。



2 中学校新人大会（2月）

中学校ラグビー部の部活動を通じて中学校におけるラグビーの普及や育成、選手同士の交流を目的に1～2年生を対象とした新人大会を開催しています。

3 中学生ジュニアラグビー大会（3月）

加盟するクラブチームの中学1～2年生を対象に、普及・育成・指導・強化を目的とした、大会を開催しています。



4 小学生ミニラグビー大会（10月）

少年クラブチームに所属する小学6年生と5年生の子どもたちが参加して試合を開催しています。9人制のラグビーを通じ、規律やルールを学ぶ大会です。

5 普及活動・タグラグビー（通年）

体のぶつかり合いが無く安全にプレーできるタグラグビーの普及を図っています。

この他、トップリーグの開催に合わせてラグビー観戦教室を実施しています。